
東関東支部コロナウイルス感染拡大防止対策

支部大会中は、日本協会のガイドランを遵守するものとするが、支部として下記事項を定める

- ①選手、応援父母、チーム関係者の検温については、各チームにて実施し、検温記録、入退出記録を提出する
- ②役員や審判員も事前に検温する。記録表は提供チームが用意する
- ③参加チームは、消毒液(シート等)を持参する
- ④ヘルメット等共用品は、使用后その都度消毒する*消毒対応する大人2名以内のベンチ入りを認める(私服にて)
- ⑤ベンチ入りする消毒係は、試合中の怪我に備えて、スポーツ保険に加入することを勧める
- ⑥消毒係の氏名を提出するメンバー表の欄外に記入する
- ⑦試合終了後はベンチの消毒を行い退出する
- ⑧アナウンスは、原則野外で行い可能であれば2本のマイクを用意する。攻撃側チーム1名のアナウンス係で対応し守備側チームは近くに控える
- ⑨グラウンド提供チームは、ベンチの拡張や父母の見学席を指示する。役員・審判員の湯茶接待は不要とし、ペットボトルなどを用意する
- ⑩チームおよび役員・審判員の検温・入退記録表は、グラウンド提供チームが管理・保管する
- ⑪試合前用具チェックを行う役員は手袋を着用する

一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

【選手・チーム】

- ① 検温の実施。37.5℃以上の者はチームに同行させない。家族が発熱した場合も、その選手は参加させない。
- ② 球場への入場の際、及び食事の前はアルコール消毒を実施する。
- ③ 選手はプレー中以外、マスク着用。指導者、チーム関係者、保護者などは試合中もマスクを着用する。
- ④ 移動中はすべての車両で極力密を避け、窓を開けるなど換気に十分注意する。
- ⑤ 熱中症にも十二分の注意を払う。水分の補給。日陰での休息など。
- ⑥ 試合終了後はすみやかに球場を離れる。
- ⑦ 宿舎での不要不急の外出は控える。コンビニでの買い物は認めるが、必ずマスクを着用し大人数にならず、多くても2、3人までとする。
- ⑧ 選手の体調には監督、事務局長などチームスタッフが注意深く見守り、無理をさせないように努める。

【試合について】

- ① アルコール消毒液をベンチに常備する。
- ② ベンチ内の密を避けるため、ベンチ外にパイプ椅子を置き、防球ネットを設置するなど安全対策を施し設営する。人数は5人~10人程度。ただし、球場の施設利用制限などに注意する。
- ③ 試合前後の本塁上での整列（挨拶）は行わない。試合前後時はベンチ前に整列する。
- ④ 握手、ハイタッチは行わない。
- ⑤ 3密にならないよう、できるだけ選手同士の距離をとる。とくに攻撃中は選手間の距離に注意する。声出しは控える。
- ⑥ メガホンの使用は禁止する。
- ⑦ バット、ヘルメット、捕手マスクなどで共用するものは、都度、消毒する。
- ⑧ ベンチ前の円陣はできるだけ控える。行う場合は選手間の距離を十分にとる。

【チーム同行者・観客】

- ① 保護者やチーム関係者の人数は極力絞り、できるだけ少ない人数とする。
- ② 入場する者は全員、入退記録（時刻も含む）を付ける。
- ③ 検温の実施。37.5℃以上の方は入場をお断りする。
- ④ 入場時、アルコール消毒を実施する。
- ⑤ 観戦中もマスクを着用する。
- ⑥ スタンドでの応援はメガホンの使用や大きな声出し、全員での合唱などは禁止する。できるだけ拍手までとする。
- ⑦ 隣同士の間隔をできるだけ空ける。

【メディア対応】

- ① 検温の実施。37.5℃以上の者は入場を認めない。
- ② 入場時、アルコール消毒を実施する。
- ③ 氏名、社名、連絡先を記入（入退時刻を含む）してもらう。
- ④ マスク着用をお願いする。
- ⑤ 取材の際は、対象者との距離をできるだけ空けてもらう。

【大会役員】

- ① 検温の実施。37.5℃以上の者は入場を認めない。
- ② マスク着用。
- ③ 入場時、アルコール消毒を実施する。入退記録（時刻も含む）を付ける。
- ④ 試合終了後、ベンチなどを消毒する。
- ⑤ 第1試合と第2試合の間隔を空けて、チーム同士が重ならないようにする。
- ⑥ 本部席、審判室、アナウンス室などは密にならないように努め、十分な換気を行う。
- ⑦ 場内アナウンスでは、熱中症対策に加えて、感染防止策を重ねて流す。

※感染拡大のリスクはゼロではありません。感染拡大防止にご協力をお願い致します。大会への出場は強制しません。チームは選手、保護者にしっかりと説明し、承諾、同意を得た上で出場してください。

選手やチーム同行者に感染者が出た場合、チームはただちに活動を停止し、大会は中止する場合があります。